

報道関係各位

LIFULL、経験豊富なシニアを募集する「老卒採用」を開始

“古い”の既成概念から卒業し、これまでの超経験を活かして働きたいシニアを募集します

事業を通して社会課題解決に取り組む、株式会社 LIFULL（ライフフル）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：伊東祐司、東証プライム：2120）は、あらゆる人が年齢・性別・国籍などの属性に関係なく活躍するための取り組みの一環として、“古い”の既成概念から卒業し、これまでの人生を通じて培われた超経験を活かして働きたいシニアを募集する新たな取り組み「老卒採用」を、2024年4月18日（木）に開始します。



「老卒採用」特設サイト：https://media.lifull.com/campaign_20240418/

■「老卒採用」開始の背景

内閣府が公表した「[令和5年度高齢社会白書](#)」によると、2025年には国民の約3人に1人が、65歳以上の高齢者になると見込まれています。また、総務省統計局「[労働力調査](#)」によると、2022年の就業者数に占める高齢者の割合は13.6%で、就業者の7人に1人が65歳以上となっており、多くのシニアが65歳以降も働き続けています。

しかし、LIFULLが実施した「シニアの就業に関する意識調査」では、これまでの経験を活かして働きたいと考えるシニアは多くいる一方、シニア採用を積極的に行っている企業はわずか2割。さらに「年齢（高齢であること）を不採用の理由として考慮したことがある」と採用担当者の6割以上が回答しており、経験とスキルを持つシニアと企業の間で大きなギャップがあることが明らかになりました。その背景には、「歳相応の働き方をしなきゃ」「シニアに活躍を求めるのは諦めなきゃ」など、“古い”に対する既成概念が存在していると考えています。

そのような背景からLIFULLは、あらゆる人が年齢・性別・国籍などの属性に関係なく活躍するための取り組みの一環として、“歳をとったら引退しなきゃ、なんてない。”をコンセプトに「老卒採用」を開始します。

■ LIFULL の既成概念に対する取り組み

LIFULL は、既成概念にとらわれない、多様な人の、多様な生き方をサポートしたいという思いから、「しなぎゃ、なんてない。」というメッセージを 2018 年から掲げています。そして、あらゆる人が自分らしく生きられる未来を目指し、「しなぎゃ」という既成概念から生じる世の中の様々な社会課題解決に、不動産・住宅情報サービス「LIFULL HOME'S」や老人ホーム検索サービス「LIFULL 介護」をはじめ、様々な事業を通じて取り組んでいます。さらに、2021 年 5 月からは、あらゆる方々の背中を押すことを目指し、社会課題が解決された、実現したい未来を描いた CM を公開するなど、これまでさまざまなアクションを行ってきました。

2023 年 12 月、創業社長の井上高志からバトンを引き継ぎ、伊東祐司が株式会社 LIFULL の代表取締役社長に就任しました。第二創業期の LIFULL は多様性あふれるチームで社会課題解決のためにさらなる進化を目指しています。今回この「老卒採用」を通じて“古い”に対する既成概念に気づき、卒業しようとするきっかけを提供できればと考えています。これまでの“超経験”を活かしてご自身の可能性を切り開こうという情熱を持つ方のエントリーをお待ちしています。

■ 「老卒採用」ステートメント



歳をとったら

引退しなぎゃ、なんてない。

老卒採用

“古い”の既成概念から卒業し、

これまでの超経験を活かして働きたいシニアを募集します。

2025年には国民の3人に1人が65歳以上の高齢者になり、

労働力不足が大きな課題になると言われています。

今シニアの多くが自分の経験やスキルを活かして働きたいと思っている一方で、

その経験が大切だと考えていない採用担当者は約9割[※]。

「歳相応の働き方をしなぎゃ」「シニアに活躍を求めるのは諦めなぎゃ」などの

“古い”に対する既成概念も未だに存在しています。

そこでLIFULLは、

あらゆる人が年齢・性別・国籍などの属性に関係なく活躍するための

取り組みの一環として「老卒採用」をはじめます。

求めるのは、“古い”の既成概念から卒業しようという想いと、

これまでの超経験を活かしてご自身の可能性を切り開こうという情熱です。

皆さまからのエントリーをお待ちしています。

※「シニアの就業に関する意識調査」、65歳以上の就労中の男女300名と企業の採用に関わる担当者300名、
2024年3月、LIFULL調べ

■ 募集要項

募集ポジション：営業（営業部門のアドバイザー／LIFULL HOME'S）

LIFULL HOME'S 事業本部のCSO（Chief Sales Officer）である洲上敦浩と並走し、業務を行う

クリエイティブ（コピーライター）

ブランディング・マーケティング責任者のCCO（Chief Creative Officer）である川崎鋼平と並走し、業務を行う

法務（法務部門の社内研修の企画・講師、法務・コンプライアンスのナレッジマネジメントのアドバイザー、国内・海外のグループコンプライアンスのアドバイザー）

法務責任者のCLO（Chief Legal Officer）である平島亜里沙と並走し、業務を行う

- 勤務地：LIFULL 本社（東京都千代田区麹町1-4-4）
募集時期：2024年4月18日（木）～6月10日（月）
募集方法：エントリーページから応募（<https://hrmos.co/pages/lifull/jobs/12001-000>）
応募条件：65歳以上の方
選考フロー：WEBエントリー → 書類選考 → 面談1～2回（オンライン） → 決定
※実施スケジュール、面談方法などは変更となる場合があります

■ 代表取締役社長執行役員 伊東祐司（いとうゆうじ）のコメント

年齢や性別、国籍など目に見える多様性と、育ってきた背景や価値観など目に見えない多様性があります。いずれも押し付け合うと居心地が悪くなり、組織として弱くなっていきます。お互いの個性を認めながら、それぞれに望むものを要求し合うことが大切です。そして、多様性あふれる組織が実現するとLIFULLで働きたい優秀な人が増えて、結果として業績が伸びていくと考えています。

今回LIFULLが実施した調査では、シニア層と企業の意識で大きなギャップがあることが明らかになりました。シニア層のスキルや経験が活かされないことは大きな損失です。そして、少子高齢化・人口減少の中、シニア層のスキルや経験を活かすことは日本社会全体の活気に繋がると考えています。情熱を持つ方々のエントリーを心からお待ちしています。



■ 65歳以上の働く方300名と、企業の採用担当者300名に聞いた「シニアの就業に関する意識調査」

LIFULLでは「老卒採用」開始に先立ち、65歳以上の働く方300名と、企業の採用担当者300名に「シニアの就業に関する意識調査」を実施しました。シニアに対しては希望する仕事や働き方について、採用担当者にはシニア人材の採用状況や採用したシニア人材の実態について聞いています。

<サマリー>

65歳以上の働く方

- 現在希望通りの仕事に就いている方は8割（79.3%）。「5年以内に仕事探しをした方」に絞ると、約3人に1人（29.5%）が希望通りの仕事に就けていない
- 希望通りの仕事に就けていない理由は「自身の年齢が高いため（80.6%）」、「応募できる企業が少ないから（30.6%）」が上位に
- 8割（83.0%）が「これまでの経験やスキルを活かすことのできる職種で働きたい」と回答
- 活かせる・活かしたいと思う経験・スキルは「自分の意見を持っている」が38.3%で最多、次いで「若手

